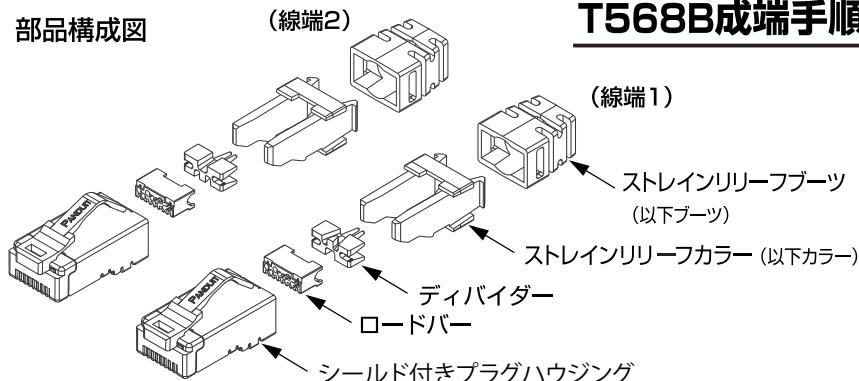


部品構成図



T568B成端手順

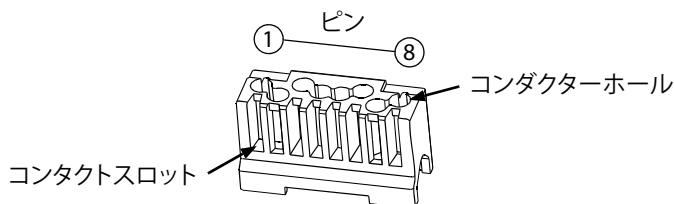
ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
T568B	茶	茶/白	緑	青/白	青	緑/白	橙	橙/白

■成端仕様

- 外被覆外径 最大 7.2 φmm
- 心線絶縁径 最大 1.2 φmmの単線および撚り線
- T 5 6 8 B 結線は茶色対の対角側が橙色対
- ドレイン線付きもしくは編組仕様のF/UTP、U/FTPおよびS/FTP ケーブル使用

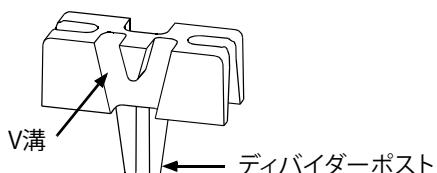
ロードバー

挿入時の向きに注意して下さい

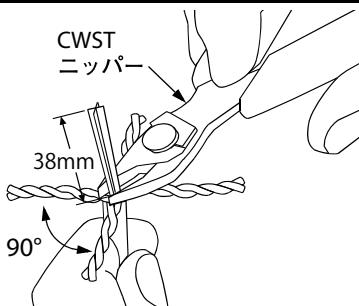
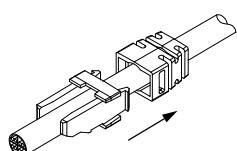


ディバイダー

V溝とコンタクト番号の位置を確認して下さい



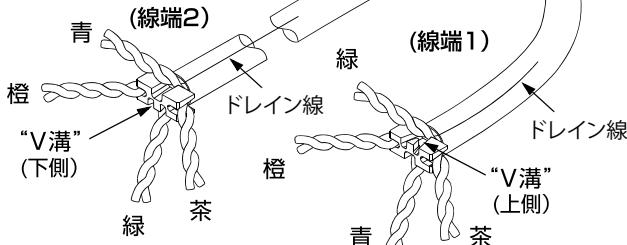
- 1 ブーツとカラーを最初に挿入
(線端1&2)



◆ブーツとカラーを最初に挿入します。

- ◆ケーブル端から 38mm ほど外被覆を剥きます。
- ◆遮蔽用ホイルを剥きます。編組仕様の場合は編組線でドレイン線を作ります。外被覆に沿うようにドレイン線を折り曲げます。
- ◆各対を十字方向のようになります。(放射状)
- ◆中央に介在物(十字介在)がある場合には、導線を曲げた根本から 4mm ほどの所でカットします。

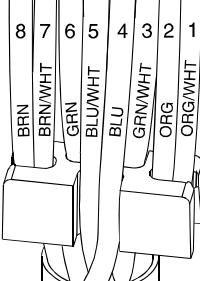
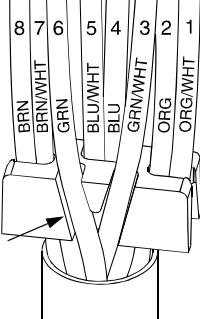
- 2 青 (線端2)
橙 (線端1)



◆ケーブルの両端では構造が異なります。

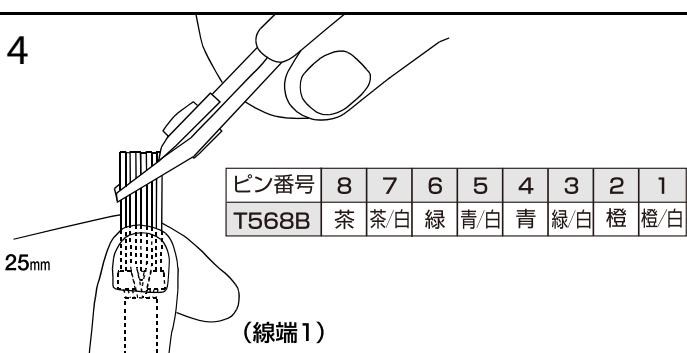
- ◆両端の橙色対と茶色対の位置を合わせると、青色対と緑色対の位置が逆になります。
- ◆ディバイダーのV溝が緑色対に合うようにしてください。

- 3



- ◆各対をディバイダーの所まで撚りを戻します。
- ◆茶色対をディバイダーの茶色側溝に茶白を先に茶色を後からハメ込みます。
- ◆橙色対は対角側の溝に橙色を先に後から橙白をハメ込みます。(7番、8番と2番、1番の溝にハメ込む)
- ◆青色対をディバイダー中央小さい方の溝に4番側が青色で5番側に青白となる所で色合わせします。
- ◆緑色対はもう片面のV溝となっている3番側が緑白で6番側が緑色となるように色合わせします。(4番、5番と3番、6番の溝に合わせる)

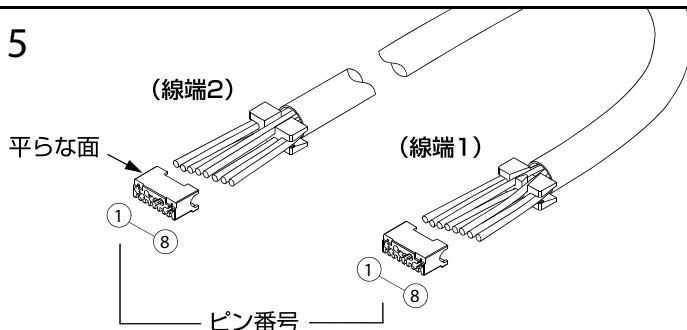
4



- ◆ ディバイダーを押さえながら各対の撚りを戻して導線を真っ直ぐに伸ばします。

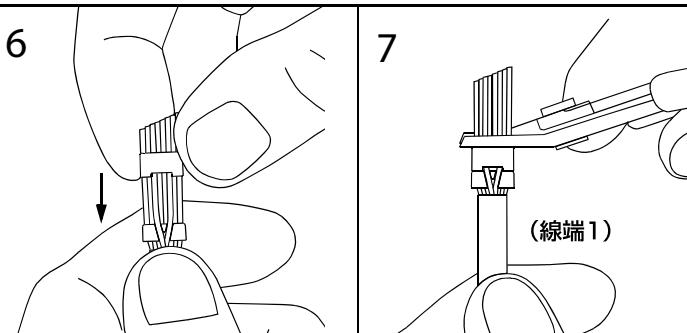
- ◆ 1番から8番ピンまで一列にしてディバイダーから25mmほど空けて導線を斜めにカットします。(ロードバーの挿入が容易になります)

5



- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーを持ち、ロードバーの平らな面が表になっている事を確認してロードバーを挿入します。

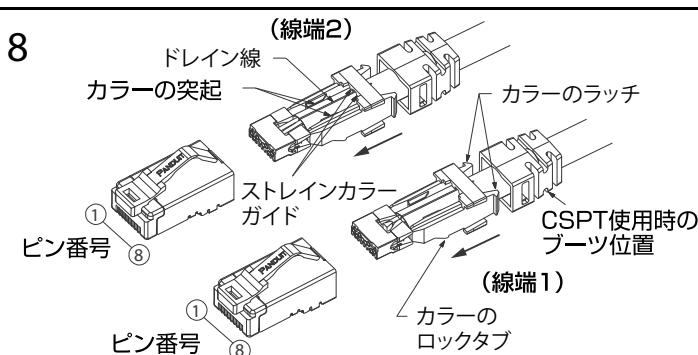
6



- ◆ ディバイダーとの隙間ができないようにしっかりと挿入します。

- ◆ 1番と8番の導線を少し外側に曲げます。
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーとロードバーを押さえながら、カラーの平らな面を表にしてディバイダーまで引き寄せてから、ロードバーの先端で余分な導線をカットします。

8



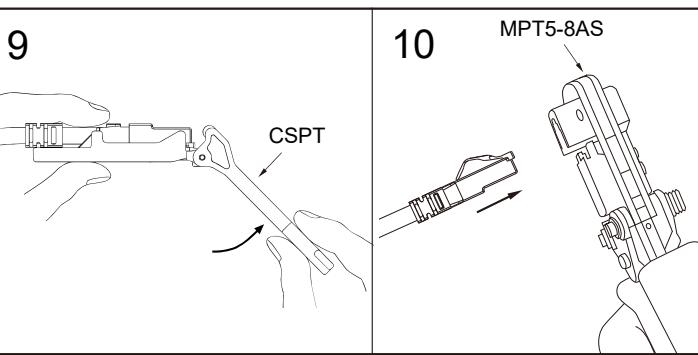
- ◆ ドレイン線が上になるように、ケーブルの向きを調整します。

- ◆ 図のようにカラーの向きを確認してハウジングに挿入します。

- ◆ ドレイン線がストレインカラーガイドに沿っていることを確認します。

☆挿入を補助するCSPT工具があります。この工具を使用する時には、ブーツは装着しないでください。

9

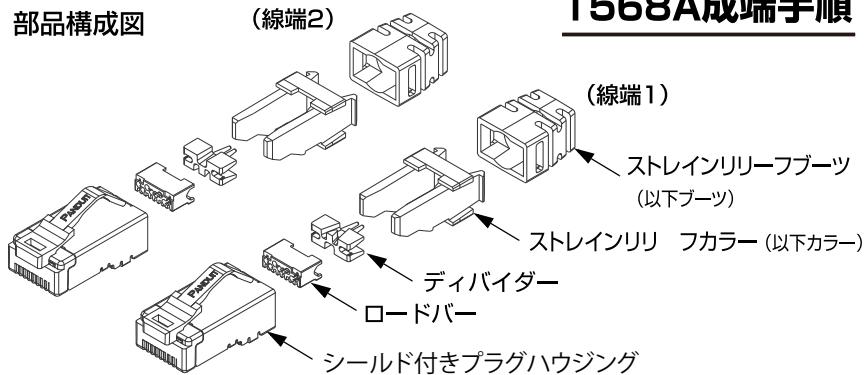


10

- ◆ CSPTを使用して、ラッチするまでカラーを押し込みます。

- ◆ 圧着工具MPT5-8ASを使用して一括圧接します。
- ◆ ブーツを装着して成端完了です。

部品構成図



T568A成端手順

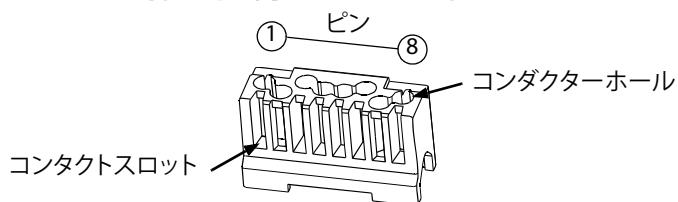
ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
T568A	茶	茶/白	橙	青/白	青	橙/白	緑	緑/白

■成端仕様

- 外被覆外径 最大7.2 φmm
- 心線絶縁径 最大1.2 φmmの単線および撓り線
- T 568 A 結線は茶色対の対角側が橙色対
- ドレン線付きもしくは編組仕様のF/UTP、U/FTPおよびS/FTPケーブル使用

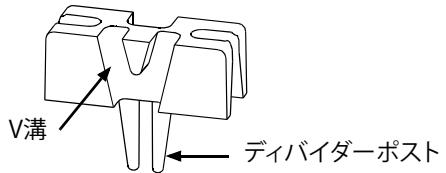
ロードバー

挿入時の向きに注意して下さい

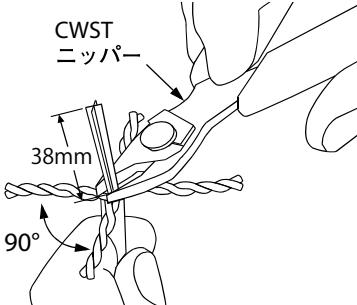
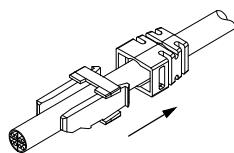


ディバイダー

V溝とコンタクト番号の位置を確認して下さい



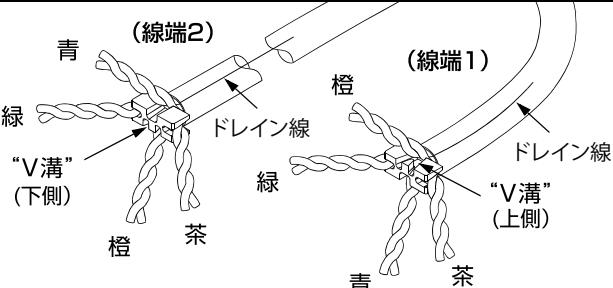
1 ブーツとカラーを最初に挿入します。(線端1&2)



◆ブーツとカラーを最初に挿入します。

- ◆ケーブル端から38mmほど外被覆をむきます。
- ◆遮蔽用ホイルを剥きます。編組仕様の場合は編組線でドレン線を作ります。外被覆に沿うようにドレン線を折り曲げます。
- ◆各対を十字方向のよう開きます。(放射状)
- ◆中央に介在物(十字介在)がある場合には、導線を曲げた根本から4mmほどの所でカットします。

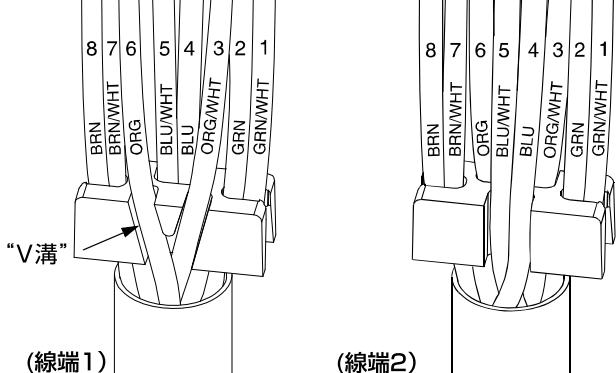
2



◆ケーブルの両端では構造が異なります。

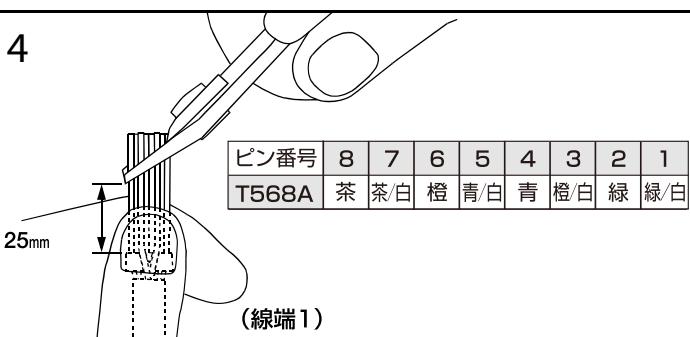
- ◆両端の橙色対と茶色対の位置を合わせると、青色対と緑色対の位置が逆になります。
- ◆ディバイダーのV溝が緑色対に合うようにしてください。

3



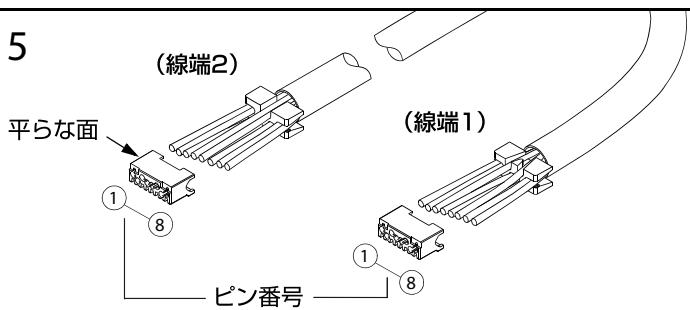
- ◆各対をディバイダーの所まで撓り戻します。
- ◆茶色対をディバイダーの茶色側溝に茶白を先に茶色を後からハメ込みます。
- ◆緑色対は対角側の溝に緑色を先に後から緑白をハメ込みます。(7番、8番と2番、1番の溝にハメ込む)
- ◆青色対をディバイダー中央小さい方の溝に4番側が青色で5番側に青白となる所で色合わせします。
- ◆橙色対はもう片面のV溝となっている3番側が橙白で6番側が橙色となるように色合わせします。(4番、5番と3番、6番の溝に合わせる)

4



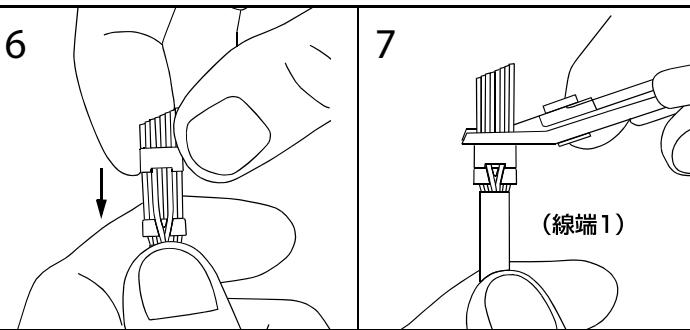
- ◆ ディバイダーを押さえながら各対の撓りを戻して導線を真っ直ぐに伸ばします。
- ◆ 1番から8番ピンまで一列にしてディバイダーから25mmほど空けて導線を斜めにカットします。(ロードバーの挿入が容易になります)

5



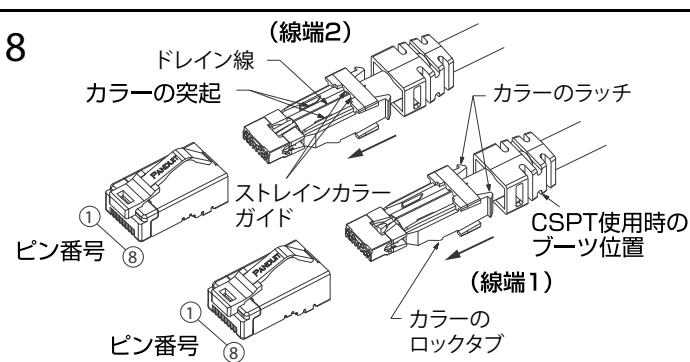
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーを持ち、ロードバーの平らな面が表になっている事を確認してロードバーを挿入します。

6



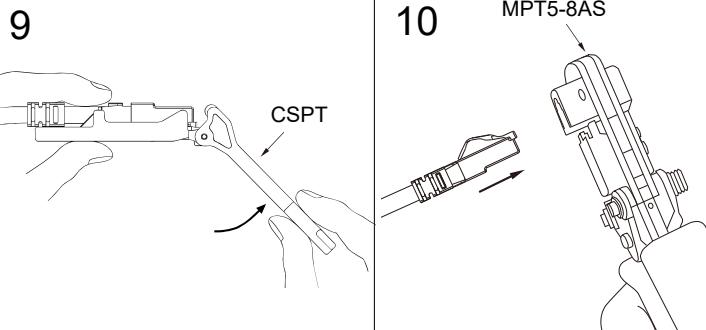
- ◆ ディバイダーとの隙間ができるないようにしっかりと挿入します。
- ◆ 1番と8番の導線を少し外側に曲げます。
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーとロードバーを押さえながら、カラーの平らな面を表にしてディバイダーまで引き寄せてから、ロードバーの先端で余分な導線をカットします。

8



- ◆ ドレイン線が上になるように、ケーブルの向きを調整します。
 - ◆ 図のようにカラーの向きを確認してハウジングに挿入します。
 - ◆ ドレイン線がストレインカラーガイドに沿っていることを確認します。
- ☆挿入を補助するCSPT工具があります。この工具を使用する時には、ブーツは装着しないでください。

9



- ◆ CSPTを使用して、ラッチするまでカラーを押し込みます。
- ◆ 圧着工具MPT5-8ASを使用して一括圧接します。
- ◆ ブーツを装着して成端完了です。